

コースの先輩に
聞いてみた！

海洋技術コース Q & A

作成：生徒SSH委員会

<p>01 コースで勉強している内容や実習内容とは？</p> <p>科目は「資源増殖」、「漁業」、「海洋生物」があります。実習では、食品加工、編網、海図による航海計画、船舶の機械や機関について勉強しています。</p> 	<p>02 名物先生はいますか？</p> <p>やっぱりコース長の神戸先生です。水産高校の頃からいらっしゃるので、経験豊富で頼ることができます。</p> 
<p>03 今年度取り組んでいる課題研究のテーマや内容とは？</p> <p>今年度は、ヤマトヌマエビの繁殖をテーマにしています。育てて産卵させ、稚エビから成体になるまでの一生を辿っていくような内容です。 他にも、スジアオノリの養殖についてや、未利用魚の有効利用についてのテーマもあります。</p> 	<p>04 テーマはどうやって選んだのか？</p> <p>5人1組のチームを作り、それぞれがテーマを出し合いました。そして、5人で考えてテーマを1つに絞りました。しかし、実際は、考えていたテーマがあまりに難しかったので、突然出てきたテーマにしてしまいました（笑）</p> 
<p>05 研究の難しいところや課題とは？</p> <p>科技校は海洋生物を育てる大きな施設がないので困っています。小さい水槽から始めても、実験のために装置を付けたりするとすぐに大きくなってしまいます。 また、温度や水質の変化に弱い生物を対象にすると、水替えや管理が大変です。</p>	<p>06 自分たちの研究で工夫した点とは？</p> <p>水温をヤマトヌマエビの生息温度に合わせてあげることです。大きな樽に水槽ごと入れて、水温を合わせています。</p> 
<p>07 研究の面白いところとは？</p> <p>どう育つのかを考えることができることです。実験は予想していても、予想通りの結果にならないので面白いです。エビについての知識を深めることができるのも良いです。</p>	<p>08 後輩たちに伝えたいこととは？</p> <p>課題研究はテーマを早めに決めていたほうが良いと思います。 学校生活の方は、進学したいのか、就職したいのか、県内にいるのか、県外に出るのかなど早めに決めて、その目標に向けて準備をしていくと良いと思います。</p>
<p>09 今後の進路について</p> <p>海洋技術コースでは、漁協や冷凍機械会社などへの就職が多いですが、最近では進学する人も増えています。進学先は海上技術短期大学などです。 私は水産大学校に進学し、船の機関について学び、地元の船に乗って働きたいと考えています。</p>	<p>10 最後に。学校生活で大事なことは何ですか？</p> <p>「海」「魚」「船」など海洋について興味を持ち、専門教科の勉強を頑張ることです。海洋に関する資格取得も頑張ったら進学・就職するときに自分の武器になります。</p> 